

廿八日は斯くして暮れたり、當夜三越丸の内別館三階なる家具工組合代表が洋服職工に對する友誼上倉知事務を三田綱町の私邸に訪問し、讓歩を勸告したるも用ゐられず、事件の前途暗澹として明なきの觀ありしが、獨り福原堀留署長は微笑を禁じ得ざるものありき、署長は當夜幾戸營業部次長の出頭を求め、歳末匆忙の時徒らに事件を永引かしむるは好もしからざる事なるを勸告するとともに、兩者は胸襟を披きて談ずるところあり明日の示威運動前後を以て一轉機たらしむべきを約して別れたり、署長が成さんとする何事かの決心は此罷工に大團圓を結ばしむるの序局たりしなり。

廿九日罷工團は午前九時は松本亭に集合し、街路及三越館内にビラを撒布すると共に正午三々伍伍三越に入れり、三越に取つては空前の日なり、かくまでに對抗さるべしとは何人とも期せざりしところ朝來多數の刑事潜入すると共に本館左角の交番附近に數多の正服巡查を駐屯せしめ事態極めて穩かならず、罷業職工は期せずして三階休憩室に集合したり、集合したれども彼等が三越に對する觀念は十有幾年育ちの家としての三越にして、一般労働階級と觀念を同じうすべくもあらず、即ち酒を被らざるは黙し、酔へるは稍高聲なる雜談を爲すに過ぎず、茲に於て事あれかしと集れる鑛夫總同盟、建設者同盟、社會主義同盟の人々は其態度を軟弱と見て盛に友愛會の爲す無きを罵倒し演説を初め労働歌を高唱したる後、丸の内支部に向て罷業理由を公にせんことを望む、罷業職工福井宗一より是に答ふるところあり、されど亦振はず、徒に三階休憩室の占領を固守するのみ、警察は中隊編成の正服巡查を此

一室に送り店内警防班と協力して先づ六名を拉致したるが此前三階主任は此休憩室を閉ざさんと却て室内に引込まれ「君等に同情します」と口を迂らし「同情とは何ぞ」とあはや袋叩に遭はんとしたり其他の營業部員は喧騒を制止せんとするも更に其效なし。

罷業職工に對しては一般方略の授けあり、即ち昇降機に乗りて決して之を下らず運轉を不可能ならしむる役、矢鱈に階段を上下する役、喊聲を擧ぐるの役、右往左往するの役、されど何等戰鬪的訓練を有せざる罷業職工は只處女の如く三階休憩室に籠居するのみ、三時半麻生棚橋兩氏は初めて三越前道路に姿を表はすや職工は親を得たるが如く歡呼し、社會主義者は三角赤旗を抔振りて之を迎へんとせり、兩氏は、罷業者の爲す無きを見て、今は是までなりとし館内に入り四時、眞正面より示威行列を指揮し労働歌を高唱し野次、應援者と一隊百五十館内を練り歩けば巡查之を圍みて三越店内空前の騷擾を呈したり。

▲堀留署長の調停盡力

閉門に先だつ十分示威行列は裏門を出で日銀正面に到りし時、警部補の率ふる一隊は忽ち之を襲ひ、麻生、棚橋兩氏及鑛夫總同盟幹事河村義彌を拉し去りしたため、示威隊は松岡友愛會々計之を率いて松本亭に引上げたり、鈴木友愛會長は此日隊を離れて三越にありしが又松本亭に來り、兩氏檢束後の相